

枕草子

原文

月のいと明かきに、川をわたれば、牛の歩むままに、
水晶などのわれたるやうに、水の散りたるこそをかしけれ。

現代語訳

月のとても明るい晩に牛車で川を渡ると、
牛が歩くのにつれて水晶などが割れたかのように、
水しぶきが飛び散ってキラキラと輝くのは趣深いものだ。

重要語句

やうに↓(現代仮名遣い) ように
をかし↓(現代仮名遣い) おかし (現代語訳) 趣がある

